

## 動物実験に関する検証結果報告書

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2026年3月

日実動学-外検発 第R8-5号-報  
2026年3月16日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所  
所長 近藤 滋 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 小倉淳郎



対象機関：大学共同利用機関 法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所

申請年月日：2025年7月29日

訪問調査年月日：2025年10月30日

調査員：久保 薫、吉村 文、秦野伸二

#### 検証の総評

大学共同利用機関法人の情報・システム研究機構に属する国立遺伝学研究所は、遺伝学を基盤とした先端的研究と資源の保存と利用及び高度な教育と人材育成を担う共同利用研究施設である。文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針(以下、「基本指針」という。)」に則した機関内規程の制定、動物実験委員会の設置などがなされている。また、動物実験計画の審査、結果報告等と動物飼育実験の手引き、飼養保管記録簿、飼養保管状況の自己点検票等、基本指針及び環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準(以下「飼養保管基準」という。)」に則した飼養保管体制が整備されている。動物実験の実施は研究所長の下、哺乳類及び鳥類のみならず魚類・両生類の使用実験についても動物実験計画書の提出、承認が義務付けられており、多様な研究・教育に必要な動物実験の実施体制が適正に整備されている。加えて、教育訓練が大学院生のみならず海外からのインターンシップにも実施され、登録者全員に毎年再教育が課せられている。

総合的に見て、良好な管理体制の下で動物実験及び飼養保管の適正な実施に努力している。今後は、実験動物管理者の教育訓練を充実させ、得られた最新の知識や情報などにより、更なる適正な動物実験の実施体制及び実験動物の飼養保管に向けた管理体制の整備を期待する。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「情報・システム研究機構国立遺伝学研究所動物実験規程(以下、「動物実験規程」という。)」は2025年4月1日に改正され、その内容は基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守している。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
動物実験規程の理解促進のために、動物実験規程に則した組織体制図を作成することを推奨する。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験規程に動物実験委員会の役割、構成と運営等が定められており、基本指針で求められる3要件の委員を含む9名の委員で構成された動物実験委員会が設置されている。また、県内の大学教員を実験動物に優れた識見を有する外部委員として加えている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 3. 動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験規程、「動物飼育実験の手引き (2023年版)」及び「動物実験計画書記入要領」に、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等に関する具体的な事項と動物実験委員会の審査体制が定められ、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。また、これらの手続に必要な「動物実験計画書」「動物実験資格審査登録申請書」「動物実験(終了・中止)結果報告書」「飼養保管施設設置承認申請書」「実験室(設置・変更)承認申請書」「施設等(飼養保管施設・動物実験室)廃止承認申請書」など、各種様式も定められている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。</li></ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</li><li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>遺伝子組換え動物を用いる実験、病原体の感染動物実験、放射性使用動物実験、有害化学物質の投与動物実験に関して、「遺伝子組換え生物等の使用等に関する安全管理に関する規程」「研究用微生物安全管理規程」「放射線障害予防規程」「化学物質管理規程」が定められ、それぞれの安全管理を目的に遺伝子組換え実験安全委員会などの委員会が設置されている。また、向精神薬は適正に保管され、管理台帳に記録・保存され、行政対応も適正に実施されている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li></ul>

<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

#### 5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 マウス及びラットの飼養保管施設 (2 か所) に管理者及び実験動物管理者が配置され、基本的な管理体制が整備されている。また、飼養保管施設や実験室の申請、動物実験委員会による視察、研究所長による承認体制がとられている。さらに、「動物飼育実験の手引き (2023 年版)」に飼養保管、微生物モニタリング、緊急時の対応、動物逸走時の対応、動物アレルギーや緊急連絡網等が網羅されており、飼養保管体制などの整備に意欲的に取り組んでいる。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

#### 6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

国立遺伝学研究所は、2010 年度に「動物実験の相互検証プログラム」に基づく外部検証を、2019 年度に「第 2 期外部検証プログラム」に基づく外部検証を受検し、今回は申請に基づき哺乳類と鳥類を対象とした 3 度目である。前回の外部検証時に指摘された事項は改善されており、動物実験委員会構成員として実験動物に優れた識見を有する外部委員を加えて獣医師を外部識者として委嘱していることなど、動物実験の適正化に努力されている点は評価できる。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会の活動状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 研究所長の諮問機関である動物実験委員会では、動物実験規程及び「動物飼育実験の手引き(2023年版)」に基づいて、動物実験責任者及び動物実験従事者の動物実験資格取得と施設利用登録を確認した後に動物実験計画を審査し、その実施状況及び結果も把握しており、それらの記録と議事録は整理・保管されている。また、動物実験委員会は、飼養保管施設や動物実験室が動物実験規程の設置基準を満たしていることを視察により確認し、実験動物の飼養保管状も把握しており、それらに関する書類並びに記録は保管されている。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 研究所長の下で動物実験規程に基づき、2024年度には哺乳類と鳥類に係る14件の動物実験計画が動物実験委員会で審査され、動物実験計画の立案、審査、承認、助言・指導が適正に実施されている。また、動物実験(終了・中止)結果報告書及び動物実験の自己点検票は提出率100%であり、動物実験委員会は実施状況を把握している。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会委員が遺伝子組換え実験安全委員会の委員も兼任するなど、関連委員会及び事務局が連携し、安全管理に注意を要する動物実験が関連法令等に準拠して適正に実施されている。また、遺伝子組換え動物実験一覧表、インジケータテープによるオートクレーブの機能検査結果と安全キャビネットの維持管理記録などが保管されている。咬傷事故(1件)は、「動物飼育実験の手引き(2023年版)」に則して適切に対応されていた。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

各飼養保管施設において、実験動物管理者の指導の下、「動物飼育実験の手引き(2023年版)」に基づき飼養保管され、定期的な微生物モニタリングを含めた動物の健康管理や施設の衛生管理も適切に行われている。各飼養保管施設から実験動物飼養保管状況の自己点検票が提出されており、動物実験委員会は飼養保管状況について把握している。また、緊急連絡先が掲示され、利用者に周知されている。これまで実験動物の飼養保管に関して重大な事故などは報告されていない。したがって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
各飼養保管施設は、温湿度等の飼育環境が記録され、空調、給排水等の設備の保守・点検によって、おおむね適切に維持管理されている。飼養保管施設の一部では空調設備工事が実施され、適切な風圧・風量を保つ改修が進められている。さらに、各飼養保管施設は磁気カードあるいは施錠により入退室が管理されている。第一種圧力容器は性能検査が実施され、その記録は適正に保管されている。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
一部の飼養保管施設について、入退室を記録することを検討されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験実施者などに対する教育訓練の実施記録や受講者の記録などが保存されており、基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した教育訓練が実施されている。教育訓練は、大学院生のみならず海外からのインターシップにも実施され、登録者全員に毎年再教育が課せられていることは評価できる。前回の外部検証での指摘事項である「人獣共通感染症に関する内容」を教育訓練項目に含めて実施している。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果

は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 実験動物管理者が最新の知識や情報などを得るために、定期的に外部の専門機関、例えば、(公社)日本実験動物学会による実験動物管理者等研修会の受講を検討されたい。

#### 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験に関する自己点検・評価が毎年実施され、動物実験に関する自己点検・評価関係書類は整理・保管され、事務局の支援体制は良好である。また、基本指針及び国立大学法人動物実験施設協議会が要請する情報公開項目が、アクセスが容易なウェブサイトに公開されている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

#### 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。
-------